



けすぞう新聞

2021年2月発行
NO.38
播磨町消防団女性分団

防災劇の紹介 火はこわい～大怪獣バトル編



①女性消防団員であるウルトラの妻たちが団長を先頭に登場です。

「播磨町ウルトラ消防団女性分団、ただいまから消火活動を開始します」



②消火活動開始。火災の対象は前方、緑色の大怪獣ダメラ。「ぎゃおおお～」雄たけびと共に火を噴くダメラ。町は火の海です。「放水準備、各自定位置につけ」「よし」「放水はじめ」



③燃え盛るビル群は彼女たちの活躍で、あっという間に鎮火し、町に平和がおとずれました。

「お疲れ様でした」
「今日のダメラは手ごわかったですね」
「敵も段々手強くなっています。あなた達が頑張っ、この播磨町を守らなくてはなりません」



けすぞう新聞

2021年2月発行
NO.38
播磨町消防団女性分団

防災劇の紹介 火はこわい～大怪獣バトル編～



④ それでは勉強会を始めましょう。消火活動も大切だけれど、その前に知識も必要です。今回は3つの火災事例を参考に原因と対処法について学びましょう。それではひとつ目「放火犯ダメラはなぜ、あの家屋を狙ったのか」



⑤ 某日未明、播磨町Aさん宅が放火により全焼。犯人は怪獣ダメラ。これが火災前のAさん宅です。家の外に灯油を出したままにしていたところをダメラに狙われたようです。さあ、今回の事件で、Aさんがしないといけなかったことは、何でしょう？



⑥ 灯油缶など火の付きやすいものは物置に、できれば鍵をつけましょう。また、山積みの新聞紙やゴミなどはため込まないように。家の垣根や植木は刈り込み、見通しを良くしましょう。防犯灯をつけて明るくしましょう。

「戸締り用心、火の用心」



けすぞう新聞

防災劇の紹介 火はこわい～大怪獣バトル編

2021年2月発行
NO.38
播磨町消防団女性分団



⑦二つ目の事例「火が燃え移った毛むくじらのウーは、どうすれば良かったのか」
怪獣ウーはキッチンで調理中に全身をやケドし、入院中です。



⑧鍋の下から炎がメラメラ。ウーがコンロの周りにこぼした醤油を拭いています。
強い火力とメラメラ炎、ヒラヒラの袖口、ビラビラのお腹周り・・・
危ない！近い！あー、ついに袖口が火に触れた！着衣に火が燃え移った。あっという間に火が全身を包みました。



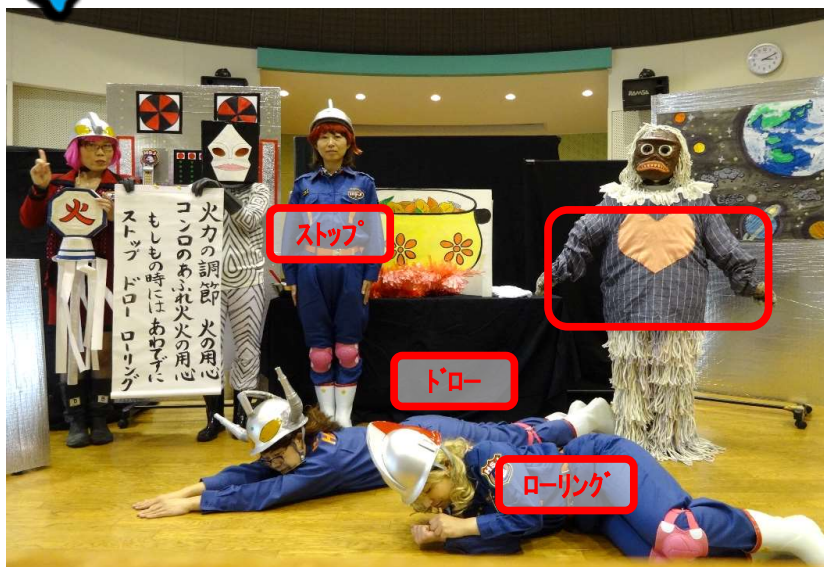
⑨皆さん、もうお分かりでしょう。ウーのヤケドの原因は着衣着火。鍋からあふれる余分な火。このあふれた火がヒラヒラした袖口に燃え移ったのです。
着衣着火で多くの命が失われています。火に近づく時には、自分の衣服は燃えるものなのだ、ということをお忘れなく！



けすぞう新聞

2021年2月発行
NO.38
播磨町消防団女性分団

防災劇の紹介 火はこわい～大怪獣バトル編～



⑩火に近づく時は袖口やお腹周りなどがヒラヒラしないよう、かっぽう着などを着ましょう。もしウーのように自分の体に火が付いたら、ストップ・ドロ・ローリングで自分の体について火をもみ消すことを覚えて下さい。

もしもの時には慌てずに「ストップ・ドロ・ローリング」



⑪三つ目の事例「緊急指導！ヤメタランスのお宅を大改造」
怪獣ヤメタランスは凶暴で無責任。その性格がそのままの部屋は、近隣住民から火災の発生を心配されています。今回は私たちに指導の要請がきました。さあ、どの点を指導すれば良いのでしょうか。



⑫ストーブの周りで洗濯物を乾かすには距離を取って、真上は厳禁！寝タバコと吸い殻山積みは火種も山積み！**タコ足配線**は発火のもと。ホコリも乗って危険度上乘せ！**タンスに踏まれたコード**も劣化による出火の危険大！



けすぞう新聞

2021年2月発行
NO.38
播磨町消防団女性分団

防災劇の紹介 火はこわい～大怪獣バトル編～



⑬吸い殻から出火しそうだった灰皿は、ピカピカの銀色に。たくさんコンセントを差し込んだタコ足配線も、ニコニコと2個ずつに分けられました。今にも出火しそうだったヤマタラシの家は、今ではどこよりも安全な家へ生まれ変わりました。住宅用火災警報器の取り付け、更に完璧です。

「寝室ひとつに警報器、一家に一台消火器を」



⑭「この事例で学んだことを…」突然、緊急事態発生サイレンが鳴り響きました。

「はい、ただちに出動します」古宮の石油コンビナートに怪獣ベムラーが出現！ウルトラ警備隊と科学特捜隊が現地に出動。私たち播磨町ウルトラ消防団女性分団は町民を大中遺跡にある地下シェルターに誘導します。「みんな出動準備！」「了解！」「整列！前へ進め！」



～今日も、播磨町ウルトラ消防団女性分団の活躍により、播磨町が守られていく～身近なところに危険はいっぱいです。**「火事は怖い」**今回学んだ火災原因と対処法を心に刻み、みなさん一人ひとりの心掛けが火事を防ぐのです。

※大中遺跡の地下シェルター、古宮の石油コンビナートは実在しません。フィクションです。